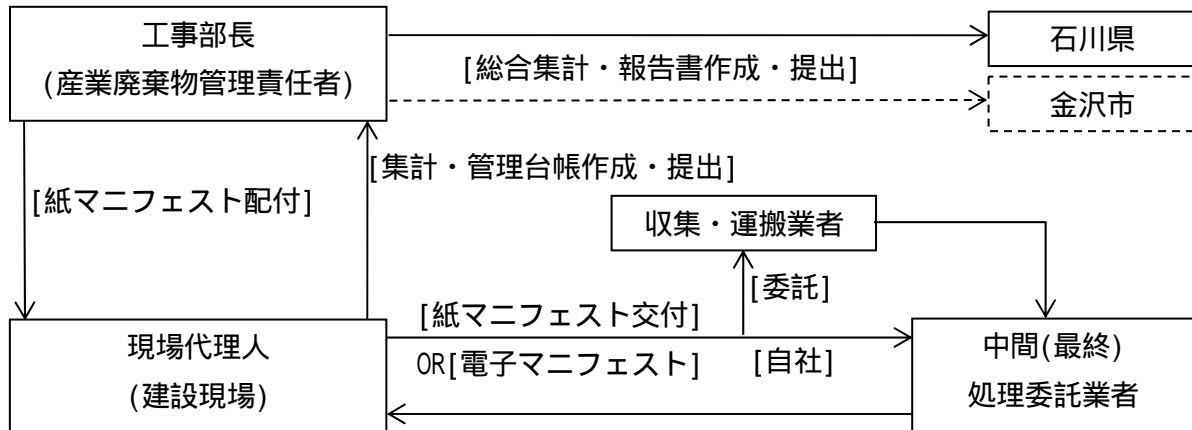


(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7年 6月27日	
石川県知事	馳 浩 殿
提出者	
住 所	金沢市額新保1丁目422番地
氏 名	株式会社 小山組
	代表取締役社長 上野 晋
	(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号	076-296-1435
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	石川県金沢市以外の石川県内の事業場
事業場の所在地	石川県金沢市以外の石川県内の事業場
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	06 総合工事業
事業の規模	¥471,000,000 - (令和6年度元請完成工事高)
従業員数	17人
産業廃棄物の一連の処理の工程	<div>全数量について、発生箇所から近傍かつ適正を勘案し、処理施設を選定し委託契約を締結した後、運搬・処理する。</div> <div><div>産業廃棄物 排出事業者</div><div>収集・運搬業者</div><div>中間処理業者 最終処理業者</div><div>【自社運搬】</div><div>【委託契約】</div><div>【委託契約】</div><div>【委託業者運搬】</div></div>

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	「別紙のとおり」	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 「別紙のとおり」		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	「別紙のとおり」	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 「別紙のとおり」		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・比較的木材を多く使用する現場において、チップ等再利用できるものを専用の集積ボックスを配備し分別する。
計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・作業所における紙の分別として、A4サイズの専用袋を常備する。

【 別 紙 】

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	現 状		計 画	
	【前年度(令和6年度)実績】		【 目 標 】	
汚泥	排出量	0.37 t	排出量	0.30 t
	(これまでに実施した取組) ・乾燥による減量化		(今後実施する予定の取組) ・乾燥による減量化	
廃プラスチック	排出量	0.80 t	排出量	0.50 t
	(これまでに実施した取組) ・材料ロス削減		(今後実施する予定の取組) ・資材発注量の指導・監督	
木くず	排出量	37.24 t	排出量	20.00 t
	(これまでに実施した取組) ・乾燥による減量化		(今後実施する予定の取組) ・資材発注量の指導・監督	
がれき類 (コンクリート破片)	排出量	799.54 t	排出量	600.00 t
	(これまでに実施した取組) ・施工範囲の明確化		(今後実施する予定の取組) ・施工範囲の明確化	
がれき類 (アスファルト破片)	排出量	419.50 t	排出量	300.00 t
	(これまでに実施した取組) ・施工範囲の明確化		(今後実施する予定の取組) ・施工範囲の明確化	
がれき類 (アスファルト破片)	排出量	419.50 t	排出量	300.00 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		(今後実施する予定の取組) ・施工範囲の明確化	
安定型混合廃棄物	排出量	4.57 t	排出量	3.00 t
	(これまでに実施した取組) ・資材発注量の適正化		(今後実施する予定の取組) ・資材発注量の指導・監督	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
現状	【前年度（ 令和 6 年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（ これまでに実施した取組 ） ・ 無し		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（ 今後実施する予定の取組 ） ・ 無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
現状	【前年度（ 令和 6 年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（ これまでに実施した取組 ） ・ 無し		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（ 今後実施する予定の取組 ） ・ 無し		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
現状	【前年度（ 令和 6 年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（ これまでに実施した取組 ） ・ 無し		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（ 今後実施する予定の取組 ） ・ 無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
現状	【前年度（ 令和 6 年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	「 別紙のとおり 」	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（ これまでに実施した取組 ） 「 別紙のとおり 」		

計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	「別紙のとおり」	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	( 今後実施する予定の取組 ) 「別紙のとおり」		
事務処理欄			

【 別 紙 】

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の種類	現 状		計 画	
	【前年度(令和6年度)実績】		【 目 標 】	
汚泥	全 処 理 委 託 量	0.37 t	全 処 理 委 託 量	0.30 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.37 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.30 t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	-	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	-
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	-	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	-
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	-	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	-
	(これまでに実施した取組) ・ 特に無し		(今後実施する予定の取組) ・ 優良認定処理業者への処理委託	
廃プラスチック	全 処 理 委 託 量	0.80 t	全 処 理 委 託 量	0.50 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.80 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.50 t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量		再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	-
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	-	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	-
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	-	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	-
	(これまでに実施した取組) ・ 優良認定処理業者への処理委託		(今後実施する予定の取組) ・ 優良認定処理業者への処理委託	
木くず	全 処 理 委 託 量	37.24 t	全 処 理 委 託 量	20.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	30.11 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	10.00 t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	7.13 t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	10.00 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	-	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	-
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	-	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	-
	(これまでに実施した取組) ・ 特になし		(今後実施する予定の取組) ・ 特になし	

【 別 紙 】

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の種類	現 状		計 画	
	【前年度(令和6年度)実績】		【 目 標 】	
がれき類 (コンクリート破片)	全 処 理 委 託 量	799.54 t	全 処 理 委 託 量	600.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	13.40 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	200.00 t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	786.14 t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	400.00 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	-	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	-
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	-	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	-
	(これまでに実施した取組) ・ 優良認定処理業者への処理委託		(今後実施する予定の取組) ・ 優良認定処理業者への処理委託	
がれき類 (アスファルト破片)	全 処 理 委 託 量	419.50 t	全 処 理 委 託 量	300.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	56.32 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	100.00 t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	363.18 t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	200.00 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	-	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	-
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	-	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	-
	(これまでに実施した取組) ・ 優良認定処理業者への処理委託		(今後実施する予定の取組) ・ 優良認定処理業者への処理委託	
安定型混合廃棄物	全 処 理 委 託 量	4.57 t	全 処 理 委 託 量	3.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	4.57 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1.50 t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	-	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	1.50 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	-	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	-
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	-	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	-
	(これまでに実施した取組) ・ 優良認定処理業者への処理委託		(今後実施する予定の取組) ・ 優良認定処理業者への処理委託	



備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の11第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「 」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。